

③潮風ふ頭

- 水深7.5m・10mの緊急物資用耐震強化岸壁を有する
- 歴史を語る10号地灯台(第2次世界大戦の空襲で破損)



10号地灯台

④空見ふ頭

- 昭和30年代の高度経済成長期を支えた旧鉄鋼専用ふ頭
- 西側にはフェリーターミナルがあり、「きそ」、「いしかり」の2船が隔日運航
- 仙台を經由し苫小牧までの1,330kmを約40時間で結ぶ
- 国内向けの完成自動車の移出手も行われている



きそ



いしかり

出典: 太平洋フェリーHPより

⑤木場金岡ふ頭

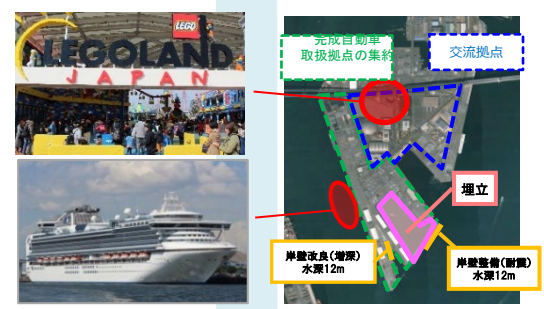
- 三菱重工(株)飛島工場にて大型ロケットH-IIA/H-IIB/H3の艀装・組立を実施し種子島へ



出典: JAXAHPより

⑥金城ふ頭

- ポートメッセなごや、リニア鉄道館などがありレゴランドが2017年4月に開業
- 2018年4月にホテル、水族館がオープン
- 現在は主に完成自動車の輸出基地として利用(新車・中古車など年間約40万台輸出)
- 名古屋港船舶通航情報センター(平成6年稼働)年間約3万隻の大型船を航行管制
- 大型クルーズ客船が着岸
- 2015年よりふ頭再編事業に着手



大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」(H28.8.23撮影) 金城ふ頭再編改良事業

⑦飛島ふ頭

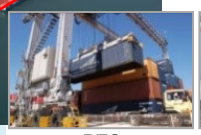
- 東側には延長2.2kmのコンテナ岸壁(水深10m~15m)を備え、主に東南アジア向けに年間約90万TEU*を扱う
- 南側のコンテナ岸壁は名古屋港最大の水深16mで、主に北米、欧州向けに年間約50万TEUを扱う
- TS1は2008年、TS2は2005年に供用開始

*TEU: twenty-foot equivalent unit、20フィートコンテナ換算

- 世界初のRTG(遠隔操作式門型クレーン)や日本初のAGV(自動搬送台車)を導入した先駆的な「IT・自動化ターミナル」で効率化、省力化を図る
- 2016年よりふ頭再編改良事業に着手



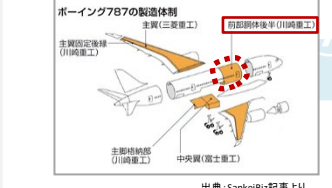
整備箇所



RTG (遠隔操作式門型クレーン) AGV (自動搬送台車)

⑧弥富ふ頭

- 川崎重工(株)名古屋第一工場にてB777、B787の胴体部を製造し、中部国際空港へ海上輸送(sea&air輸送)
- 三菱自動車の完成自動車輸出基地(年間約6万台)



出典: SankeiBiz記事より



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑨鍋田ふ頭

- 総面積約205ha(ナゴヤドーム約42個分)
- コンテナ岸壁(水深12m~14m)で中国・韓国などの近海航路の貨物を年間約110万TEU*を扱う
- 電動化された門型クレーン(RTG)を備え、CO₂排出抑制や低コストでの運用を実現

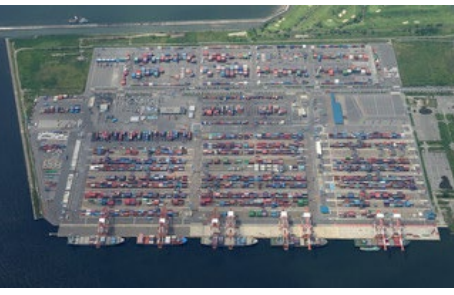


⑩南浜ふ頭

- 総面積約205ha(ナゴヤドーム約42個分)
- コンテナ岸壁(水深12m~14m)で中国・韓国などの近海航路の貨物を年間約110万TEU*を扱う
- 電動化された門型クレーン(RTG)を備え、CO₂排出抑制や低コストでの運用を実現



電動化RTG



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑪北浜ふ頭

- 総面積約205ha(ナゴヤドーム約42個分)
- コンテナ岸壁(水深12m~14m)で中国・韓国などの近海航路の貨物を年間約110万TEU*を扱う
- 電動化された門型クレーン(RTG)を備え、CO₂排出抑制や低コストでの運用を実現



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑫東海元浜ふ頭(鉄鋼基地)

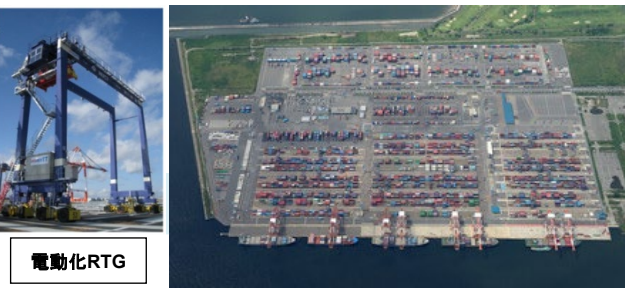
- 旧東海製鉄(株)(現:日本製鉄(株)名古屋製鉄所)は、1961年に操業開始
- 鉄鉱石と石炭が扱われ、加工した自動車部品用の鋼を背後地域へ供給
- 薄板製品を、国内各地へ年間約300万トン移送、アジア各地域へも年間約200万トン輸出
- 名古屋港で最も大きなふ頭で総面積は約733ha(ナゴヤドーム約152個分)
- ふ頭西側の南北の距離は、中部国際空港セントレアの滑走路と同じ(約3.5km)



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑬新宝ふ頭

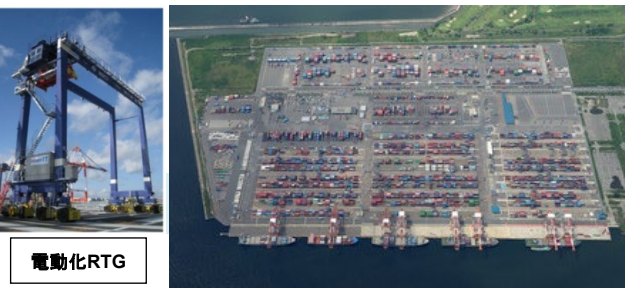
- トヨタ自動車の専用輸出基地
- 総面積約359ha(ナゴヤドーム約74個分)
- 年間約100万台の完成自動車を輸出
- ⇒名古屋港から輸出される約7割に相当
- 主な輸出先: 欧州、豪州、中東、アジア他
- 敷地内には合計で40,000台を収容できるヤードや積出前のサービス工場、テストコースが立地



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑭潮見ふ頭

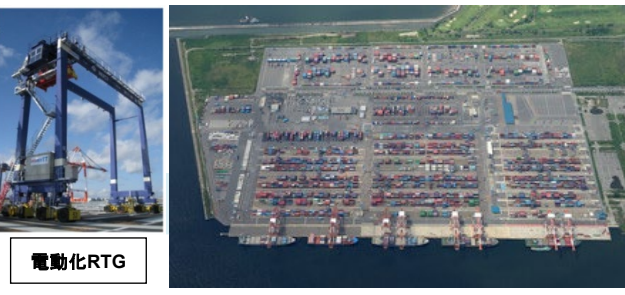
- 石油需要の増加を背景に1930年に整備された総面積約217ha(ナゴヤドーム約45個分)の人工島
- 完成自動車の移出入基地やメグラスガーデンナゴヤが立地
- JERA(株)新名古屋火力発電所の外壁にはモーツァルト交響曲第40番のメロディがデザインされている



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑮大江ふ頭

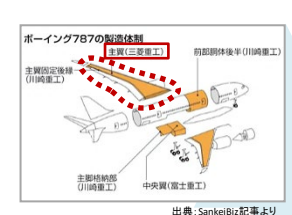
- 三菱重工(株)大江工場にてB787の主翼部分を製造
- B787の主翼は、中部国際空港まで海上輸送し、米国(チャールストン)まで航空機輸送(sea&air輸送)



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑯大江ふ頭

- 三菱重工(株)大江工場にてB787の主翼部分を製造
- B787の主翼は、中部国際空港まで海上輸送し、米国(チャールストン)まで航空機輸送(sea&air輸送)



出典: SankeiBiz記事より

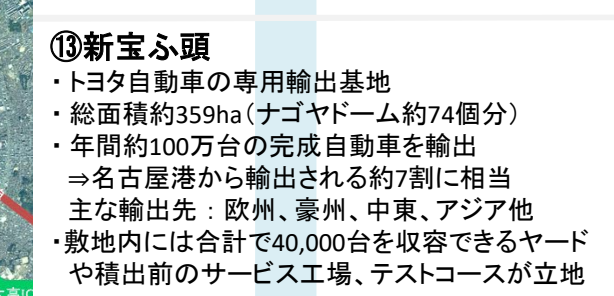


専用輸送機「DREAM LIFTER」

出典: 名古屋港管理組合HPより

⑰新宝ふ頭

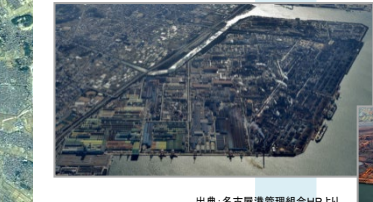
- トヨタ自動車の専用輸出基地
- 総面積約359ha(ナゴヤドーム約74個分)
- 年間約100万台の完成自動車を輸出
- ⇒名古屋港から輸出される約7割に相当
- 主な輸出先: 欧州、豪州、中東、アジア他
- 敷地内には合計で40,000台を収容できるヤードや積出前のサービス工場、テストコースが立地



出典: 名古屋港管理組合HPより

⑱東海元浜ふ頭(鉄鋼基地)

- 旧東海製鉄(株)(現:日本製鉄(株)名古屋製鉄所)は、1961年に操業開始
- 鉄鉱石と石炭が扱われ、加工した自動車部品用の鋼を背後地域へ供給
- 薄板製品を、国内各地へ年間約300万トン移送、アジア各地域へも年間約200万トン輸出
- 名古屋港で最も大きなふ頭で総面積は約733ha(ナゴヤドーム約152個分)
- ふ頭西側の南北の距離は、中部国際空港セントレアの滑走路と同じ(約3.5km)



出典: 名古屋港管理組合HPより



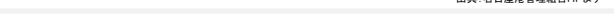
出荷製品素材の用途(例) 自動車関連

⑲北浜ふ頭

- 穀物基地(とうもろこし、小麦)や食品関連工場が立地
- ⇒名古屋港は穀物分野において「国際戦略バルク港湾」に指定(2011年)
- 輸入穀物は、コーンスターチ、小麦粉、グレーンウイスキー、配合飼料等に製品化
- 2015年、ウイスキー「知多」を販売

⑳南浜ふ頭

- LNG(液化天然ガス)の受け入れ、供給のための施設が集約
- ⇒「伊勢湾シーバース」から、海底パイプラインで受け入れ、港内各発電所に供給



出典: 名古屋港管理組合HPより